

一般質問発言通告書

発言順位 // 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

2020年11月25日

三島市議会議員 大房 正治 様

三島市議会議員 16 番 宮下 知朗



質問事項 1	ポストコロナ社会を見据えた中小企業振興支援
具体的内容	
<p>平成27年に三島市中小企業振興条例を制定し、市内中小企業の盛業化を図る取り組みがされてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は市内中小企業に対しても甚大な影響を与えただけでなく、新しい生活様式の定着によりビジネスモデルや業務スタイルの変化を迫られるなどこれまで以上に厳しい局面を迎えているものと推察する。</p> <p>地域社会の重要な担い手である中小企業がポストコロナの潮流に乗り遅れることなく、今後も事業活動を継続するための一助となるよう以下について伺う。</p>	
1. コロナ禍以前に講じられた主な中小企業振興施策およびその効果について伺う。	
2. 新型コロナウイルス感染症に関連した各種緊急支援策の現時点の効果について伺う。	
3. ICT利活用による販路拡大やビジネスマッチングや有益な情報発信などポストコロナを見据えた支援にこれまで以上に注力すべきと考えるが、市の見解を伺う。	
質問事項 2	子どもを育てやすい環境整備の推進
具体的内容	
<p>第2期三島市子ども・子育て支援事業計画において、女性の就労状況の変化や共働き世帯の増加が見込まれることから、人口減少の中でも割合は増加するとされる放課後児童健全育成事業は、子どもを安心・安全に育てるために欠かせない要素の1つであると考えます。</p> <p>三島市が「子どもを産み育てやすいまち」となる一助となるよう以下について伺う。</p>	
1. 放課後児童クラブの利用状況推移および今後の見込みについて伺う。	
2. 児童1人あたり1.65㎡以上の面積基準確保に向けた取り組み状況について伺う。	
3. 閉館時間を19時まで延長することができないか、市の見解を伺う。	
質問事項 3	子どもたちが安心して暮らせる虐待のないまちづくり
具体的内容	
<p>厚生労働省のまとめによると令和元年度の児童相談所が対応した児童虐待相談対応件数は193,780件と前年度より33,942件、21.2%増加し、過去最多を更新したとされている。</p> <p>本市においても児童虐待防止月間に合わせ児童虐待根絶の宣言がなされているが、子どもたちの未来を守っていくためにも、引き続き児童虐待問題に対する深い関心と理解が得られるよう多くの団体の積極的参加を求め、取り組みを推進することが求められるものと考えます。</p> <p>子どもたちが明るい未来を描くことのできる環境整備を目的に、以下について伺う。</p>	
1. 市内における相談件数の推移について伺う。	
2. 子どもの虐待防止に関するこれまでの取り組みについて伺う。	
3. 子ども家庭総合支援拠点の新規設置により期待される効果について伺う。	